

令和3年度 弘済(分校)中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様に説明責任を果たすことが重要であると考え、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただきため、学校が各調査の結果や各調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、各調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにし、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 「全国学力・学習状況調査」の調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 「中学生チャレンジテスト」の調査の目的

- (1) 大阪府教育委員会が、府内における生徒の学力を把握・分析することにより、大阪の生徒課題の改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図る。
加えて、調査結果を活用し、大阪府公立高等学校入学者選抜における評定の公平性の担保に資する資料を作成し、市町村教育委員会及び学校に提供する。
- (2) 市町村教育委員会や学校が、府内全体の状況との関係において、生徒の課題改善に向けた教育施策及び教育の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、そのような取組を通じて、学力向上のためのPDCAサイクルを確立する。
- (3) 学校が、生徒の学力を把握し、生徒への教育指導の改善を図る。
- (4) 生徒一人ひとりが、自らの学習到達状況を正しく理解することにより、自らの学力に目標を持ち、また、その向上への意欲を高める。

1 全国学力・学習状況調査

学年		生徒数 (人)	平均正答率(%)		平均無解答率(%)	
			国語	数学	国語	数学
3 年	学校	17	45	28	9.3	29.4
	大阪市	—	61	55	5.1	12.3
5月27日	全国	—	64.6	57.2	4.4	11.2

2 中学生チャレンジテスト

学年		生徒数 (人)	平均点(点)					平均無解答率(%)				
			国語	社会	数学	理科※	英語	国語	社会	数学	理科※	英語
3 年	学校	18	52.1	33.6	29.2	33.8	38.0	14.8	10.1	18.0	7.2	6.5
	大阪市	—	65.6	47.5	46.9	42.9	52.9	7.3	5.8	10.7	3.5	3.1
	大阪府	—	65.8	48.2	48.1	41.0	53.2	7.6	5.8	11.2	4.8	3.4

※

令和3年度 弘済(分校)中学校のあゆみ —結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

調査結果から

【成果と課題】

○全国学力・学習状況調査結果

＜国語＞ 平均正答率は全国平均と比べると20%ほど低い。また、記述式の問題においては、無解答率が30%近くになっている。

「話すこと・聞く能力」「言語についての知識・理解・技能」は全国・大阪府平均よりも低いが、他の項目より差が小さい。

＜数学＞ 大阪府の正答率と比べて、30%以上下回ってしまった項目が、半数近くあった。その中でも「数量の関係を一元一次方程式で表す」「反復横跳びの記録の中央値を求める」の項目では、40%以上下回ってしまった。

○中学生チャレンジテスト(3年生)

平均点は大阪府と比較して、どの教科も10%以上下回った。無解答率も大阪府と比較して高かった。

【今後に向けて】

○全国学力・学習状況調査結果

＜国語＞ 正答率の低さだけでなく、無解答率の高さに着目し、記述式問題への苦手意識を改善していく。

今年度から2週間に1度漢字テストを実施しているが、「言語についての知識・理解・技能」をのばすため、今後も継続していきたい。

＜数学＞ まず基礎基本の定着を図り、一問一答の問題だけではなく、文章を読んで問題に答えていく形式にも慣れさせていきたい。

○チャレンジテスト(3年生)

＜国語＞特に平均との差が大きかった「我が国の言語文化に関する事項」の項目と、「読むこと」の分野の改善が必要だ。

＜社会＞特に平均との差が大きかった「地理的分野」の項目と、「短答式」の改善が必要だ。

＜数学＞特に平均との差が大きかった「データの活用」「図形」の項目と、「短答式」「記述式」の分野の改善が必要だ。

＜理科＞特に平均との差が大きかった「粒子」「地球」の項目と、「知識・技能」の分野の改善が必要だ。

＜英語＞特に平均との差が大きかった「読むこと」「書くこと」の項目と、「思考・判断・表現」の分野の改善が必要だ。

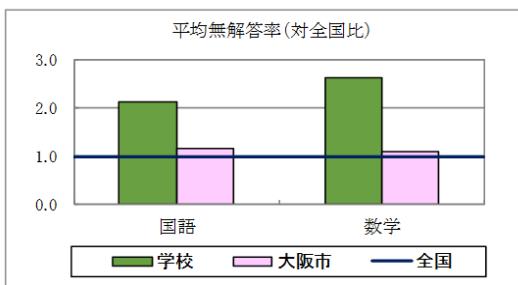
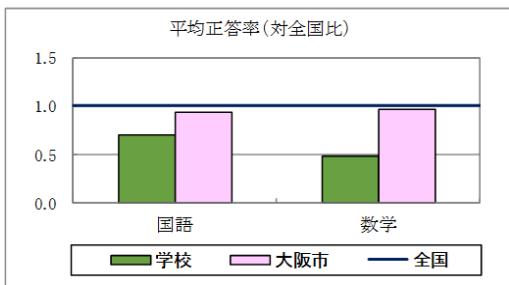
令和3年度 弘済(分校)中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

全国学力・学習状況調査 教科に関する調査より

【全 体】

	平均正答率(%)	
	国語	数学
学校	45	28
大阪市	61	55
全国	64.6	57.2

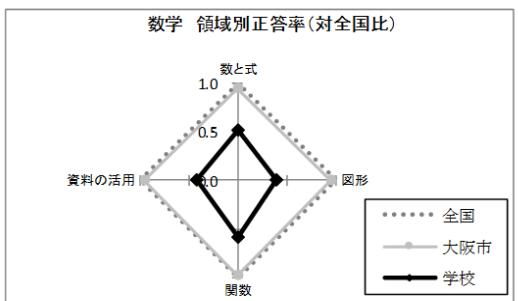
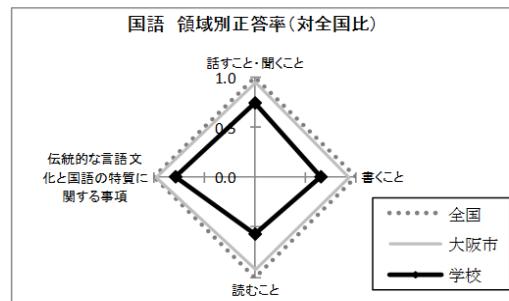
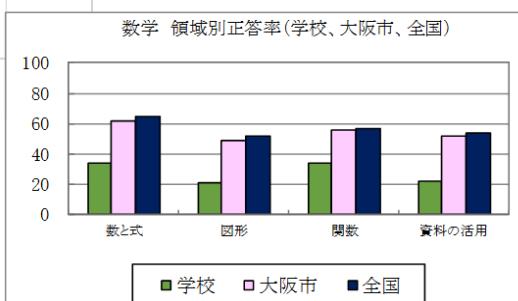
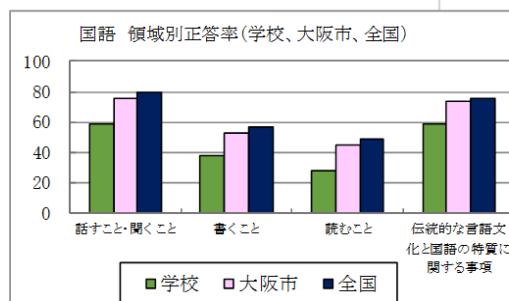
平均無解答率(%)		
国語	数学	全国
9.3	29.4	
5.1	12.3	
4.4	11.2	



【国 語】

学習指導要領の領域等	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
話すこと・聞くこと	3	58.8	75.8	79.8
書くこと	3	37.3	53.1	57.1
読むこと	4	27.9	44.8	48.5
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	4	58.8	73.4	75.1

学習指導要領の領域等	対象設問数(問)	平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
数と式	5	34.1	61.8	64.9
図形	4	20.6	48.7	51.4
関数	3	33.3	55.2	56.4
資料の活用	4	22.1	51.2	53.8



令和3年度 弘済(分校)中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—

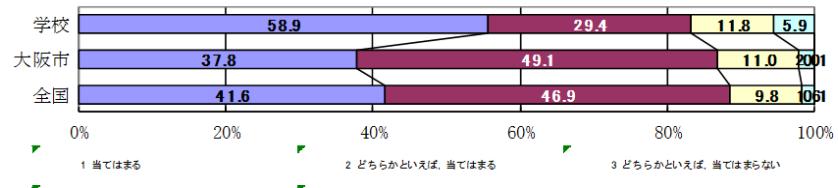
生徒質問紙より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 ■ 8

質問番号
質問事項

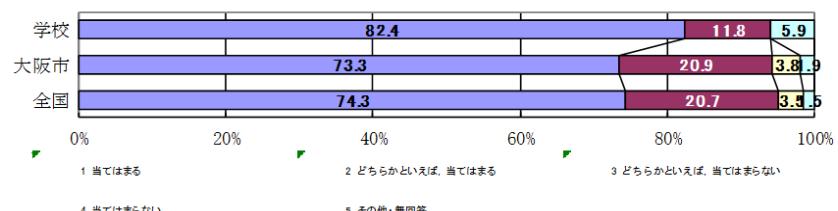
10

人が困っているときは、進んで助けていますか



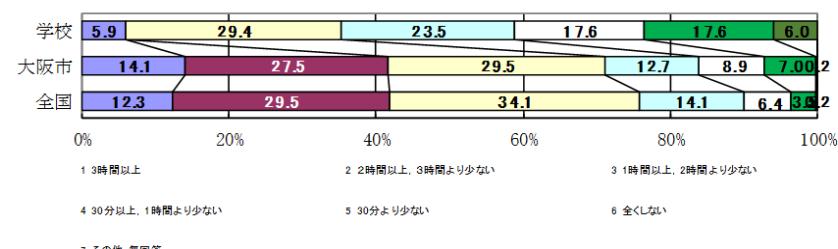
12

人の役に立つ人間になりたい
と思いますか



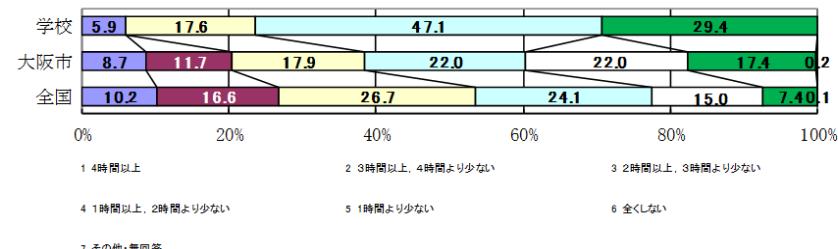
18

学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含みます。)



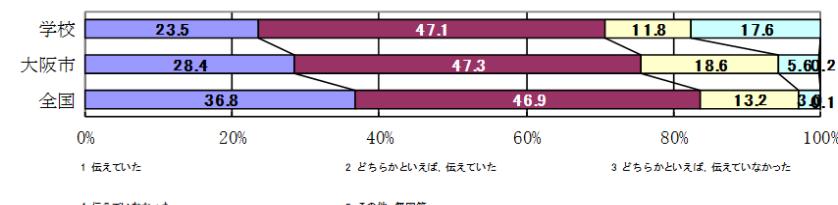
19

土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含みます。)



31

1, 2年生のときに受けた授業で、生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考え(自分と同じところや違うところ)を受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていましたか



**令和3年度 弘済(分校)中学校のあゆみ
—結果概要とその分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について—**

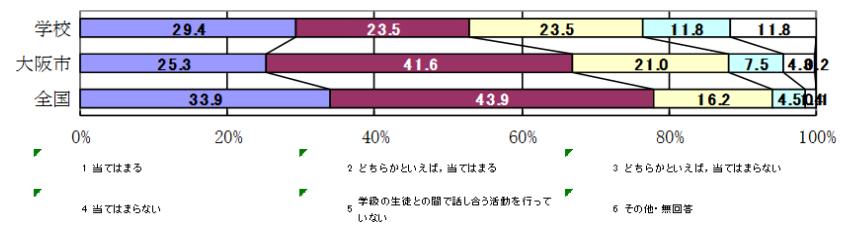
生徒質問紙より

■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8

質問番号
質問事項

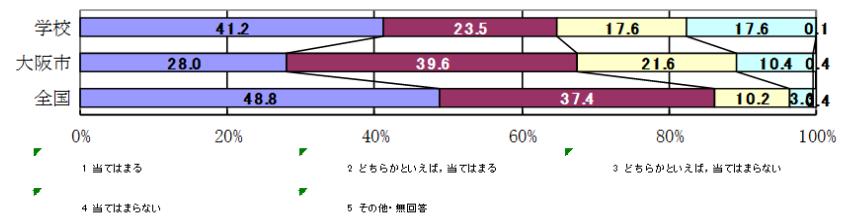
37

学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができますか



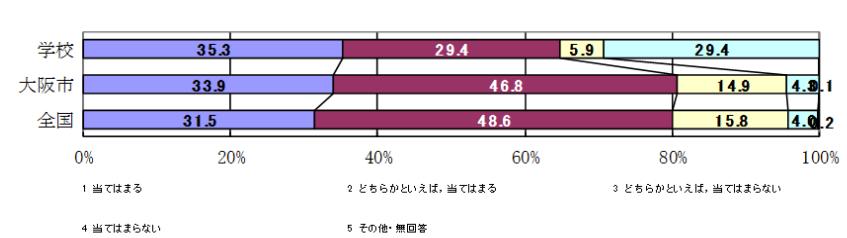
42

道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか



45

国語の授業の内容はよく分かれていますか



54

数学の授業の内容はよく分かれていますか

